

## 【多くのマンションで共通する生活継続の課題に対する改善対策のご提案】

ケーススタディ 86 件で共通する生活継続の課題（特に下線部）に対する対策の例です。

表中の数値は、赤色：回答選択肢 1 点～3 点(4 点)のうち 2 点未満

紫色：回答選択肢 2 点～3 点(4 点)のうち 2.5 点未満)

■ 発災時リスク対策			
負傷	建物仕様（家具転倒防止対策への配慮） 家具転倒防止対策マニュアル作成・配布 <u>家具転倒防止の啓発</u> 各住戸家具固定対策 近隣病院等情報把握 救護訓練実施（AED 訓練含む）	1.1 1.2 1.2 1.0 2.3 2.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体の家具転倒防止対策相談窓口や自治体・消防等の家具転倒防止マニュアルについて情報共有することをお勧めします。</li> <li>モデル住戸での家具固定対策を実践し、紹介しましょう。</li> </ul>
閉じ込め	<u>ドア歪み防止対策</u> <u>ELV 設置年</u> <u>エレベーター内の非常用備品設置の有無</u> 救出・救助機材の確保 救出方法の訓練	2.2 1.9 2.0 1.6 1.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>エレベーター閉じ込め対策として非常用備品設置をお勧めします。</li> <li>大規模修繕工事の際、玄関ドアを耐震ドアに交換しましょう。</li> <li>エレベーター設置から 25 年以上経過している場合、最新のエレベーター機器に交換しましょう。</li> </ul>
避難	<u>避難誘導體制</u>	1.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>安否確認とともに、避難誘導體制を整備しましょう。（特に高齢者等の要援護者の住戸など）</li> </ul>
火災	煙の拡散・延焼拡大防止 <u>防火区画の機能維持</u> <u>火災発生時対応マニュアルの有無</u>	1.6 1.5 1.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災対応マニュアルを作成しましょう。地震後の火災予防とともに、防火戸等の開閉点検をしましょう。</li> </ul>
情報不全	<u>連絡手段の運用（体制・マニュアル）整備</u> 非常放送設備 <u>ハンドマイク</u> <u>無線機・トランシーバー</u> 電話回線（管理員室・防災センター等） 停電時も利用可能な電話機 <u>近隣の公衆電話設置場所</u> <u>停電時の携帯電話充電装置と活用計画</u>	1.5 2.0 2.4 2.2 2.4 0.8 1.6 1.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンション内の情報伝達手段を確保しましょう。（ハンドマイク、トランシーバー等）</li> <li>緊急連絡用に近隣の公衆電話の位置を把握しましょう。</li> <li>管理組合で携帯電話等の充電装置等を備え、利用ルール等を作成しましょう。</li> </ul>
混乱発生	防災センター <u>防災アクションプラン策定</u> <u>自治体の被害想定をふまえた対策の実施</u> <u>自主防災組織の結成</u> <u>防災啓発活動の実施</u> <u>安否確認方法・体制整備</u> <u>居住者交流機会確保</u>	2.3 1.7 2.2 1.8 2.4 1.6 2.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>大地震後の混乱を防ぐため、防災訓練や啓発活動、自主防災組織づくりが必要です。</li> <li>防災マニュアルを作成しましょう。</li> <li>住んでいる自治体の被害想定をチェックし、対策を実施しましょう。</li> <li>居住者同士が顔見知りになるような機会を日頃から設けましょう。</li> </ul>

■生活継続リスク対策			
停電	受変電設備水損防止 保安負荷用の自家発電設備 <u>ポータブル発電機の保有と利用計画</u> <u>自家発・ポータブル発電機燃料備蓄の有無</u> <u>停電時の運用体制の整備</u>	1.4 1.4 1.3 2.0 1.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポータブル発電機や停電時のための照明器具（LED ランタン等）を備え、発電機用の予備の燃料を備えましょう。</li> <li>停電時の代替機器の利用方法を事前に検討し、計画しておきましょう。</li> </ul>
断水	給水方式の種別 建物引き込み給水管の強化 （停電時でも利用可能な）井戸の設置 ポリ容器・汲み上げ用ポンプの有無 <u>給水（揚水）ポンプへ停電時の電力供給</u> <u>非常用水利活用体制・ルール</u> の整備	1.9 1.0 2.0 2.2 2.1 1.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常用発電機がある場合、停電期の給水ポンプへの電力供給ができるようにしましょう。</li> <li>水の利活用に関する計画やルールを決めておきましょう。</li> <li>受水槽がある場合、災害時のために残しておきましょう。</li> </ul>
排水不全	下水道設備利用／浄化槽利用 建物引き込み排水管の強化、接続部の対策 排水ポンプへ停電時の電力供給が可能か マンホールトイレの有無・場所 <u>簡易トイレ用テント・簡易トイレ・便袋確保</u> <u>排水困難時の簡易トイレ等設置・運用体制</u>	2.0 1.0 2.0 1.2 2.4 2.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅避難の一番の問題はトイレです。簡易トイレを各住戸で備蓄しておくように伝えましょう。</li> <li>管理組合で排水困難時の対応方法を決めておきましょう。停電時でも排水ポンプが作動するかを確認しておきましょう。</li> </ul>
ガス	プロパンガスの保有の有無 <u>カセットガスコンロ・ガスボンベ備蓄</u> 灯油ストーブ（電池式）等の保有	2.1 2.2 1.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンションで炊き出し等を行えるよう各住戸、もしくは管理組合でカセットガスボンベ等を準備しましょう。</li> </ul>
移動	災害後も使用できる ELV <u>階段移動補助具の有無</u> <u>階段搬送・運搬体制・マニュアル</u>	2.1 2.0 2.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>停電時、エレベーターは停止します。最上階に階段移動補助具を備え、要援護者等の搬送体制を検討しましょう。</li> </ul>
寝食困窮	<u>飲料水の確保</u> 煮炊き不要な食糧の備蓄 備蓄食糧の活用方法・体制の有無 <u>防災用品の確保</u> 七輪・アウトドア用品の保有・活用 防災倉庫の設置 食糧備蓄場所（倉庫）の有無 <u>各住戸での備蓄品保有</u> 民生委員との連携 親睦組織等の有無 <u>廃棄物の衛生処理対策</u> <u>地域防災リーダーとの連携</u> <u>地域の防災訓練（行事）への参加</u> 地域の避難所運営に関する連携 地域情報の伝達	1.4 1.4 2.1 2.4 2.0 2.4 2.1 2.3 2.2 2.2 2.1 2.2 2.3 2.2 2.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>各住戸で飲料水、食糧等の備蓄を行うよう呼びかけましょう。</li> <li>管理組合で防災用品を購入しいつでも使えるようにしておきましょう。</li> <li>災害時に壊れた家具等の粗大ごみ、汚物を入れたごみなどを衛生的に保管するため臨時ゴミ置き場を計画しておきましょう。</li> <li>地域の防災訓練への参加など地域と連携しましょう。（特に、小規模マンションや高齢者が多いマンション）</li> </ul>